

## 【神奈川区】令和6年第3回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和6年9月6日 9時54分 ～ 11時20分
場 所	神奈川区役所 本館5階大会議室
出席者	<p>【座長】宇佐美 さやか 議員</p> <p>【議員：5名】藤代 哲夫 議員、中山 大輔 議員、田中 紳一 議員、小松 範昭 議員、竹内 康洋 議員</p> <p>【神奈川区：24名】鈴木 茂久 区長、小林 悦夫 副区長、田畑 和夫 担当理事、茨 志麻 福祉保健センター担当部長、山下 隆幸 神奈川土木事務所長、松崎 賢二 災害対策担当部長 ほかに関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年度 神奈川区個性ある区づくり推進費決算状況について</li> <li>2 令和6年度 神奈川区個性ある区づくり推進費執行状況について</li> <li>3 令和7年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方（案）について</li> </ol>
発言の要旨	<p>【議題1】</p> <p>宇佐美議員 1頁「決算調書」 自主企画事業費の3つの施策のうち、「Ⅲ 安心・安全なまちづくり」の主な増減理由について、地域防災拠点備蓄庫修繕件数減との説明だが、修繕が不要になったという意味か。</p> <p>宍戸総務課長 地域防災拠点備蓄庫の修繕については、予算上では10か所以上を想定していましたが、実績は7か所であったため、予算に対し減となりました。</p> <p>宇佐美議員 全体的に予算額よりも決算額が少ないという印象だが、事業を執行できたと考えていいのか。</p> <p>宍戸総務課長 自主企画事業費について、「信頼される区役所づくり」以外の3つの施策において、それぞれ資料に記載の増減理由による執行残が生じましたが、局配付予算等も活用しながら、事業としては執行できたと考えております。</p>

宇佐美議員 29 頁「23 地域防災力向上事業 (6) 災害時のペット対策」について、同行避難訓練を実施した拠点が 1 拠点しかなかった理由は。

梅田生活衛生課長 地域防災拠点のうち、ペットの同行避難訓練の実施を希望された拠点が 1 か所でした。

宇佐美議員 手を挙げてくれるところを待つのではなく、積極的に働きかけてほしい。今後はどのような働きかけをしていくか。

梅田生活衛生課長 今年 5 月に開催した地域防災拠点運営委員会総会の際に、各拠点において、ペットの一時飼育場所の想定をしてほしいと依頼させていただきました。各拠点に合わせたアドバイスなどを今後も続けていきます。

宇佐美議員 吠えてしまう犬もいるかと思うが、ペットと一緒に体育館に入れないことを理由に、自宅での避難や車中泊などを選んでほしくない。ペットも安心して避難できる場所があるということを色々な方法でアピールしてもらいたい。

4 つの拠点において、訓練時に講話を実施したとあるが、参加人数は。

梅田生活衛生課長 地域防災拠点ごとの人数になりますが、神奈川小学校で 20 名、羽沢小学校で 302 名、菅田の丘小学校で 84 名、西寺尾第二小学校で 76 名の方にご参加いただきました。

宇佐美議員 訓練の参加について、紙を配布するなど呼びかけをしてほしい。

各拠点における避難者数の想定はあると思うが、犬猫の数は想定されているか。

梅田生活衛生課長 区内では、犬は 9,000 頭近く登録があります。猫については登録がありませんが、12,000 頭程度が飼われていると推計しています。避難にあたっては、犬と猫で差がありますので、動物に合わせた、飼い主の方向けの啓発を継続していきます。

竹内議員 29 頁「23 地域防災力向上事業 (5) 福祉避難所関連事業」について、福祉避難所では、元々サービスを受けている方がおり、発災時には、さらに避難者を受け入れるということになるが、どのような課題があるか。

浅野高齢・障害支援課長 区内で福祉避難所の協定を結んでいる施設は、現在は 23 施設あり、最大で 517 人の受入れが可能となっています。福祉避難所の受入れの課題としては、発災時に通われている方の人数など、各福祉避難所の状況をしっかりと確認を行っていく必要があります。また、福祉避難所の協定締結施設を増やすことも重要です。現在は、区内で対象となる社会福祉施設が 48 施設で、25 の施設と協定を結べていない状況です。福祉避難所としては、バリアフリーであること、備蓄品を保管できること、受入体制など様々な条件がありますので、実際に事業所の方々と意見交換を行いながら、働きかけを行っていきたいと考えています。

竹内議員 在宅で訪問介護や訪問医療を受けている方の中には、ほぼ動けない状況の方もいらっしゃるので、避難所で受け入れるといっても、簡単にはいかないと思う。降雪時に訪問介護事業所の方の交通手段が自転車しかなかったという話も聞いているが、区としての課題認識はどうか。

浅野高齢・障害支援課長 区役所の介護認定調査においても、自転車を使用して訪問しています。大雨や大雪の時に、認定調査を必要とする場合には、公共交通機関を利用しています。介護事業所の方の移動手段として、自転車以外の車両を保有していない事業所もあると認識しています。

竹内議員 発災時は大変な状況になると思う。お一人住まいの方で、支援者が訪問できなくなった時どうするかなど、事業者のみならず、地域でゆるやかなつながりを持ち、お互いが顔を知っていること、コミュニティが重要となる。

支え愛プランなどが区や地域レベルで検討される際に、こういった課題があるという視点を持って、区としてコーディネート役をつとめていただきたい。

【議題 2】

藤代議員 15 頁「かながわ脱炭素化推進事業」の「(1) ア (イ) 小学生向け区内企業等のSDGsの取組紹介リーフレットの制作」について、取組の意義を伺いたい。

佐藤区政推進課長 各企業が行っている出前講座や工場見学を一覧にしたリーフレットを作成し、学校の先生方に見ていただき、工場見学等に活用いただく予定です。生徒さんがSDGsについて学ぶ契機になればと考えています。

藤代議員 今回は学校の先生向けのリーフレットを作成するということが、今後は少し幅広く取り組んでいただきたい。循環型経済、サーキュラーエコノミーと言われているが、神奈川区には京浜臨海部があり、栄えてきた地域でもあることから、先駆的に取り組むことが求められてくる。全市的に取り組んでいく課題だと思うが、神奈川区としての考えはどうか。

鈴木区長 気候変動への対策、脱炭素化の推進は、世界共通の課題だと考えています。臨海部の活性化、持続可能性などの問題もあわせてどう取り組んでいくのか、経済界との連携が必要だと考えています。また、神奈川区は、転入が多く、若い世代が多いということもありますので、そのような世代にどう訴えていくのか、関係機関と連携し、ご意見をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。

藤代議員 神奈川区は農業、工業、商業があり、ある意味、連携を取りやすいまちだと考えている。企業も集積しているので、ゼロカーボンに向けて戦略的に取り組んでもらいたい。

資料には記載がないが、何年か前に区民顕彰を1度実施したと思うが、今後はどうか。

小林副区長 区制 90 周年を契機に、区民栄誉賞という制度を設けていました。当時、1 名の方を表彰しましたが、コロナ禍を経て、運用が実質止まったままという状況です。区制 100 周年に向けて、どういった運用を図っていくのか検討していきたいと考えています。

藤代議員 神奈川区には、多分野で活躍している方もおり、区民の方に周知する意味もあるので、運用について整理し、見える化していただきたい。

小松議員 22頁「19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり」の新子安地区のポイ捨てについて、懸案事項だったと思うが、どのような路面標示をしたのか、また、閉鎖の状況について説明いただきたい。

瀬下資源化推進担当課長 7月1日に、喫煙者が多く滞留していたくぼ地の部分に緑色のフェンスを設置し、人が入れないようにしています。閉鎖前は、日中300人近くの喫煙者がいた状況でしたが、7月から8月にかけて調査をしたところ、100人程度と減ってきています。

路面標示については、ポイ捨てはしないでください、受動喫煙防止の観点から喫煙はご遠慮ください、という趣旨の表示をしています。

小松議員 閉鎖したことで、別のところに喫煙者が集まってきてしまっていて、その部分も何とかしてほしいという町内会の方の要望がある。どこかに喫煙コーナーを設置しないと解決できないのではないと思うが、今後どうしていくのか。

瀬下資源化推進担当課長 ご指摘のとおり、駐輪場やコンビニの横など別のところで喫煙をされる状況があり、引き続き喫煙者の調査を行っていきます。また、10月からは、資源循環局で実施しているパトロールの数を増やすよう依頼しています。最終的には喫煙禁止地区の指定等を目指していく必要があると考えており、引き続き資源循環局と調整していきます。

小松議員 22頁「19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり」の「(3) 不法投棄防止対策事業」について、不法投棄撤去の要望が149件、約6tとあるが、年間の数字か。また、不法投棄の場所は同じ場所なのか。

瀬下資源化推進担当課長 資料では、令和6年度現時点での数字を記載しています。昨年度は418件、17t程度の不法投棄がありました。場所はいつも同じようなところですが、資源循環局と連携しながら対策を講じていきます。

宇佐美議員 以前、不法投棄が酷かった場所について、花壇を設置していただいたが、別のところに粗大ごみが置かれている状況がある。何か対策できないか。

瀬下資源化推進担当課長 日頃から不法投棄が多い場所には、看板等を設置しています。資源化推進担当に連絡いただければ、資源循環局神奈川事務所と連携し対応していきます。また、不法投棄の現場を目撃した場合は、警察への連絡などの対応をお願いします。

宇佐美議員 27 頁「23 地域防災力向上事業」について、先日、地震防災戦略の見直しにあたっての提言を行った。その中で、市民の6割が暮らすと言われている集合住宅の防災対策強化について提出したが、区民の何割がマンション等集合住宅にお住まいか把握しているか。また、発災時にトイレやエレベーターは使用できないなど、集合住宅にお住まいの方への啓発について、考えていることがあるか。

宍戸総務課長 集合住宅に居住している区民の割合については、今、手元に資料がございません。「よこはま防災力向上マンション認定制度」という建築局の制度があり、神奈川区のマンションも4か所認定されています。ハード面では、耐震性や浸水対策、ソフト面では、防災組織をつくり、防災訓練を行うなどの認定基準があります。また、地域防災拠点の訓練への参加の実例もあります。相談があった際には、丁寧にご案内していきたいと考えています。

宇佐美議員 高層マンション等にお住まいの方に、防災対策が必要であるということを発信してもらいたい。港南区版の広報よこはまでは、マンションにお住まいの方向けの防災のコーナーがあったが、神奈川区でもそういったことを発信してもらいたい。

28 頁「(4) 災害時要援護者支援事業」のうち、災害時要援護者名簿を作成している人数を把握しているか。

栗山福祉保健課長 令和6年3月末日現在で、要援護者総数 13,355 人のう

ち、施設入所の方を除き、要援護者名簿に登録されている人数は、10,909人です。

宇佐美議員 発災時に避難することを想定し、日頃から訓練はされているのか。

栗山福祉保健課長 例えば、「ハンカチやステッカーを使用した安否確認の仕組みづくり」「要援護者を交えた防災訓練の実施」「支援者を募って災害に備えた組織の発足」「要援護者について地図上で把握・確認」「ゆるやかな見守り活動の中での関係づくり」を行うなど、各団体の中で発意して、取り組んでもらっています。また、良い取組については、年1回の研修時に共有しています。

宇佐美議員 29頁「(5) 福祉避難所関連事業」について、福祉避難所がまだ少ないということをおっしゃっていたが、今後、こういった施設にあたっていこうと考えるか。

浅野高齢・障害支援課長 協定未締結の25の社会福祉施設については、令和元年度に区で作成した福祉避難所の役割に関するチラシ等も活用しながら、個別にあたっていきたいと考えています。

宇佐美議員 福祉避難所に様々な備えをお願いしなくてはならないこともあり、難しいと思う。福祉避難所に直接物資等の支援をしてほしいということも提言している。

29頁「(6) 災害時のペット対策 ア(イ) 災害時ペット対策の推進」について、3拠点で支援を行ったとあるが、支援の内容は。また、「ア(エ)のパネル展示の実施」について、実績は。

梅田生活衛生課長 地域防災拠点の訓練時に、横浜市の同行避難対応ガイドラインをもとに、一時飼育場所において実際にテントを広げてもらうなど、運営の支援を行いました。

パネル展については今後実施する予定です。

	<p>宇佐美議員 防災備蓄庫について、備蓄品の点検等はしているか。</p> <p>宋戸総務課長 年に1度、防災備蓄庫の保守点検を実施しており、外観の状況、救護物品の数、期限切れの備蓄品がないか、発電機等の資機材が正常に作動するか等について、点検しています。</p> <p>宇佐美議員 地域防災拠点の受入想定人数が1,000人というところもある中で、備蓄品の数は足りているか。別に保管するのではなく、その拠点にあるということが大事だと思う。</p> <p>宋戸総務課長 各拠点の想定人数で食料等の備蓄をしています。</p> <p><b>【議題3】</b></p> <p>宇佐美議員 若手職員のアイデア等も活かしながらとあるが、若い方のアイデアに期待している。また、デジタル化について、便利なところは機械に頼っても、最後には人がいるということが大事。人の温かさを感じられるデジタル化をしていただきたい。災害がないことが一番だが、災害に備えながら、一人ひとりを大事にできる区づくり推進費にさせていただくよう、要望する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	